

令和4年9月定例会

予算委員会
全体会議録

9月14日（水）

- 日 時 令和4年9月14日(水)
○場 所 議会棟2階 議場
○付議事件 議案第56号 令和4年度防府市一般会計補正予算(第3号)
-

○出席委員(24名)

委員長	曾我 好則
副委員長	吉村祐太郎
委員	青木 明夫
委員	石田 卓成
委員	今津 誠一
委員	牛見 航
委員	宇多村史朗
委員	梅本 洋平
委員	河杉 憲二
委員	河村 孝
委員	久保 潤爾
委員	清水 力志
委員	高砂 朋子
委員	田中 健次
委員	田中 敏靖
委員	橋本龍太郎
委員	藤村こずえ
委員	松村 学
委員	三原 昭治
委員	村木 正弘
委員	森重 豊
委員	安村 政治
委員	山田 耕治
委員	和田 敏明

○欠席委員

なし

○説明のため出席した者（21名）

総務部長	能野 英人
総務部次長	永松 勉
財政課長	山根 康宏

総合政策部長	石丸 泰三
総合政策部政策推進監	亀井 幸一
総合政策部次長	伊藤 忍
デジタル推進課長	小田 至郎

地域交流部長	杉江 純一
地域交流部次長	池田 晋
地域振興課長	岡田由紀江

健康福祉部長	藤井 隆
健康福祉部次長	松村 訓規
健康福祉部参事	秋重 郁子（兼健康増進課長）
障害福祉課長	犬塚 要二
子育て支援課長	桑原 明哲
健康増進課主幹	野島由美子
健康増進課主幹	篠原 昭二

教育長	江山 稔
教育部長	高橋 光男
教育部次長	石丸 典子
教育総務課長	松田 伸一

○討論に出席した者（13名）

教育長	江山 稔
総務部長	能野 英人
総合政策部長	石丸 泰三

地域交流部長	杉江 純一
生活環境部長	金澤 哲
健康福祉部長	藤井 隆
産業振興部長	白井 智浩
土木都市建設部長	石光 徹
会計管理者	寺畑 俊孝
教育部長	高橋 光男
議会事務局長	藤井 一郎
消防長	米本 静雄
上下水道事業管理者	河内 政昭

○出席書記 秋里 あゆみ

午前 10 時 開会

○曾我委員長 おはようございます。ただいまから予算委員会を開催いたします。

議案第 56 号 令和 4 年度防府市一般会計補正予算（第 3 号）

○曾我委員長 さきの本会議におきまして、当委員会に付託となりました議案第 56 号令和 4 年度防府市一般会計補正予算（第 3 号）について、お手元に配付しております審査日程並びに審査要領に基づき審査を行いますので、よろしく願いいたします。

なお、本案につきましては、去る 8 月 29 日の議会運営委員会において、分科会での審査を省略することを全会一致で決定しております。したがって、本日は採決まで行うこととなりますので、よろしく願いいたします。

それでは、これより総務委員会、教育民生委員会の各所管順に執行部の補足説明を求めます。

まず、総務委員会所管のうち、総務部、総合政策部及び地域交流部の事項について執行部の補足説明を求めます。

なお、発言に際しては挙手の上、委員長の許可を得た後にお願いいたします。

○永松総務部次長 おはようございます。議案第 56 号令和 4 年度防府市一般会計補正予算（第 3 号）のうち、総務部所管事項について御説明申し上げます。

補正予算書 4 ページ、5 ページをお願いいたします。

最下段の表の 1 目繰越金、1 節前年度繰越金につきましては、このたびの補正予算にお

いて不足いたします一般財源 5,650 万円につきまして、前年度繰越金により対応するものでございます。

総務部の補正予算につきましては以上でございます。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○伊藤総合政策部次長 引き続き、総合政策部所管分について御説明を申し上げます。

まず、歳出の御説明をいたします。予算書の 8 ページ、9 ページをお願いいたします。

上から 2 段目の表、2 款総務費、3 項戸籍住民基本台帳費、1 目戸籍住民基本台帳費につきましては、国のマイナポイント第 2 弾の申請期限後の 10 月以降も、マイナンバーカードのさらなる普及を促進するために、引き続き、出張申請等を行うための経費を計上いたしております。

次に、歳入の御説明をいたします。4 ページ、5 ページをお願いいたします。

こちら、上から 2 段目の表になりますが、16 款国庫支出金、2 項国庫補助金、1 目総務費補助金、2 節の戸籍住民基本台帳補助金のマイナンバーカード交付事務費補助金 2,800 万円につきましては、ただいま歳出で御説明いたしました、マイナンバーカードの普及促進のための経費に係る補助金でございます。

総合政策部は以上でございます。御審議のほどよろしくをお願いいたします。

○池田地域交流部次長 引き続きまして、地域交流部の所管事項につきまして、御説明申し上げます。

同じく、補正予算第 3 号、8 ページをお願いいたします。

8 ページ上段、16 目地域振興費、18 節負担金補助及び交付金のタクシー事業者交通系 IC カード導入補助金につきましては、公共交通利用者の利便性向上を図るため、JR やバス事業者による IC O C A などの交通系 IC カード導入開始に併せ、市内のタクシー事業者が導入する IC O C A 決済端末機などの経費を助成することとし、1,000 万円を計上しております。

地域交流部は以上でございます。よろしく御審議のほどお願いいたします。

○曾我委員長 ただいまの補足説明に対する質疑を求めます。

○田中（健）委員 最後に説明がありました交通系 IC —— 予算の概要のほうを見ながら質問いたしますが、2 ページの交通系 IC カード導入支援事業という形で 1,000 万円、市内に事業所を有するタクシー事業者ということで、1,000 万円で上限 10 万円ですから、100 台分ということになると思うんですが、100 台でこれ全部賄えるものなのか。

それから、タクシー事業者ということで、今市内に個人タクシーというのか、そういう

ものはないのか、ちょっとその辺についてお尋ねいたします。

○岡田地域振興課長 100台で賄えるのかという御質問なんですけれども、市内のタクシー業者が保有するタクシーが、今現在132台と聞いております。ただし、1日に運行するタクシーの台数は約80台というふうに伺っています。ですので、予備的に保管している車もあるということですので、100台ということで計上しております。

あと、個人タクシーにつきましては、ちょっとこちらのほうでは、数は控えておりません。申し訳ありません。

○田中（健）委員 132台あるけれど、運行するのが80台ということですが、これはいつも同じタクシーが80台出るわけではなくて、要するにタクシーもずっと動かさないのでおくというわけにはいかないと思うんです。交代で出るという形になると思うので、そういう形であれば、これは、少なくとも132台分はしないと、要するに8割ぐらいしかI C O C Aの利用ができないということにならせんかと思うんですが、その辺どうでしょうか。

○岡田地域振興課長 申し訳ありません。既に導入しているタクシーもありまして、約30台程度、もう既に導入されていると伺っております。

○田中（健）委員 はい分かりました。30台程度導入されているということであれば、これで足りるような形になると思うんですが、個人事業主のタクシーがいるのかどうか、私もあんまり見たことないんですが、よその市に行った場合にありますので、その辺のところも落ちこぼれがないように、きちんと対応を取っていただきたいと思います。私のほうは以上です。

○和田委員 マイナンバーカードですが、県内で申請率1位ということで、すごく頑張っておられると思うんですが、これ継続して、今から商業施設とか、企業へ出張までしていくけど、この先というのが、かかる経費に対して、申請率はどうなっていくのかなというところは、ちょっと危惧してるんですが、その辺何か執行部のほうで見通しというか、そういうのはありますか。

○小田デジタル推進課長 質問にお答えいたします。今、マイナポイントのほうでかなり申請率が伸びておりまして、8月時点で63.6%の申請率があって、今も結構、日に100人ぐらい伸びていますし、ゆめタウンでやっているものに関しては、土日それぞれ100人程度ぐらいのすごい申請が来ています。

この分については、ポイントの効果は高いと思っていますので、それが終わった後にどうするかというのを、こちらも頭をひねって考えているところでございます。

とにかく、マイナンバーというのは、なぜつからない方がいらっしゃるかというのと、

3つあって、メリットがあまりないとか、あと安全性が危ないな、もう1つあって、申請場所がないなというのがあります。それで、その中で絞り切って、とにかく雑巾絞るように攻めていくには、とにかく申請場所を増やすということに力を入れていきたいと思しますので、今回の補正予算のほうも、今までのゆめタウンとかも続けていったり、手軽に申請できる場所を提供したり、あと、企業のほうに出向いて、健康保険証、来年度からは原則カードリーダーがお医者に入るということもありまして、利便性も高まっていくということで、企業のほうにも一生懸命、とにかく頑張っていこうと思っております。

以上です。

○曾我委員長 よろしいですか。

○石田委員 今の御答弁の中であった、お医者さんへの読み取り機の導入なんですけど、先日、歯医者さんに行ったときに、じいちゃん、ばあちゃんって、そんなもの持ってくる人おらんから、うちは入れるつもりないよという話があったんですけど、そのときにもちょっと聞いたんですけど、補助的なもんが何かあるんですか。あればあるで教えてあげるといいかなと思ったら、何のメリットもないと、その歯医者さんが言われていたんで、ちょっとその辺、お答えいただければと思います。

○小田デジタル推進課長 すみません。石田委員、補助があるかということをございますか。（発言する者あり）お医者さんに対しては、オンライン申請のシステムというのを入れるものに対しては、補助金のほうが国からは出るということになっていますし、カードリーダーについては、ある台数までは無償で提供されるということになっていますので、ちょっとシステム構築のほうでお金がかかるから、そちらのほうに補助があるということになっています。

お医者さんのものについては、国のほうで今からしっかりデジタル田園都市構想とか、そういったものに入っていますから、進めていっていただけるものと感じております。

以上です。

○石田委員 大体入るのがいつ頃の予定ですか。その辺分かれば教えていただければと思います。

○小田デジタル推進課長 今回の一般質問でもありました、答弁差し上げたんですけども、60何%か、ちょっと数字はそれぐらいの60、ちょっと待ってください、約63%が申請されてるんで、申請されてから整備するまでには、やっぱ時間ラグがあると思います。推測なんですけど、半導体の問題もあると思うから、そういったものが整っていったら、だんだん増えていくと感じております。

以上です。

○曾我委員長 よろしいですか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○曾我委員長 ほかにないようでございますので、以上で質疑を終結いたします。

総務部、総合政策部及び地域交流部の皆様、お疲れさまでした。

ここで執行部入替えのため、暫時休憩いたします。

午前10時13分 休憩

午前10時15分 開議

○曾我委員長 休憩を閉じて、会議を再開いたします。

続きまして、教育民生委員会所管のうち、健康福祉部及び教育委員会の事項について執行部の補足説明を求めます。

○松村健康福祉部次長 それでは、引き続きまして、健康福祉部所管事項について、補正予算書により御説明申し上げます。

初めに、8ページ、9ページをお願いします。

上から3段目の表、障害者福祉関係業務として500万円を計上しております。

新型コロナウイルス感染拡大により生じた運動離れ等に対応し、障害のある方が気軽に運動、スポーツが実施できるよう、キリンレモンスタジアムソルトアリーナ防府や防府市身体障害者福祉センターに貸出用のスポーツ用具を整備するものでございます。

次に、同じページの一番下の表、市立保育所管理・運營業務として120万円、市立認定こども園管理・運營業務として30万円、それぞれ計上いたしております。公立の保育所及び認定こども園の遊具について一斉点検を実施したところ、修繕すべき箇所がございましたので、安全を確保するため速やかに対応するものでございます。

次に、補正予算書の10ページ、11ページをお願いします。

下の表、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業として5億円を計上いたしております。国の方針に基づき、オミクロン株対応ワクチンの接種体制を確保するための経費でございます。

以上が歳出でございます。

歳入につきましては、ただいま説明申し上げました各事業に係る国庫負担金補助金及び雑入を計上いたしております。

健康福祉部は以上でございます。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○石丸教育部次長 引き続き、教育委員会分について御説明いたします。

補正予算書の12ページ、13ページをお願いいたします。

中段の1目学校管理費、小学校施設管理事業の1, 870万円及び下段の中学校施設管理事業の630万円につきましては、小・中学校の遊具の専門業者による一斉点検の結果に基づき、児童・生徒の安全確保のため、速やかに必要な安全対策を講じるための経費を計上しております。

また、この事業の歳入につきまして、補正予算書の4ページ、5ページをお願いします。

下から2段目の教育費寄附金の500万円でございますが、広く子どもたちのためにと匿名の御寄附がございましたので、当事業の財源の一部として活用させていただいております。

歳出の12ページ、13ページに戻りまして、中段の小学校施設整備事業の2, 500万円でございます。華城小学校西側の市道の拡幅に伴い、留守家庭児童学級の移転と、駐車場の確保が必要となることから、隣接する用地の取得交渉に向けた調査等に係る経費でございます。

以上でございます。よろしく御審議のほどお願いいたします。

○曾我委員長 ただいまの補足説明に対する質疑を求めます。

○松村委員 9ページになりますが、先ほど御説明がありました、障害者用のレクリエーションか何かの、ニュースポーツ等の確か備品だったと思うんですけど、ちょっと勉強会でもお聞きしたんですが、卓球台がほとんどで、あとカローリングが1機だけということだったんですけど、これちなみに普通の人でも、一応貸してくださいと言ったら、借りれるんですか。

○犬塚障害福祉課長 普通の方でも借りれます。大丈夫です。

○松村委員 ちなみに、用具の選定に当たっては、何かどういう団体か、障害者のそういった団体があるのか分かりませんが、そういったところから聞いて、この品物を選ばれたんですか。

○犬塚障害福祉課長 身障センターのほうは、実際に障害の方も来られて、お声を聞きながら、こういった競技をやってみたいとかいうところは伺っていると思います。

ソルトアリーナのほうは、利用者の方からそういった声が上がっているのを反映した結果ということで。

○松村委員 いま一度、何をかうか具体的に教えてください。

○犬塚障害福祉課長 まず、ソルトアリーナのほうに卓球台が2台、それから卓球用のフェンスが60枚、それからフェンスを運搬するための車が1台となっております。

それから同じくソルトアリーナに、フライングディスク、競技用のディスクが白と黄色とそれぞれ3枚ずつで合計6枚。それとアキュラシーゴール、種目にもよるんですけど、

丸い1メートルくらいの目標といたしますか、ゴールが2機ほど購入予定となっております。

ソルトアリーナのカラーリング、先ほどお話ありましたカラーリングなんですけれども、こちらのほうが、ローラーが6個セットになったものが1セット、それとカラーリングのポイントといたしますか、目標のポイントゾーンと言いますけど、これが1つ。あとソルトアリーナに、ポッチャのための専用のシートがあるんですけども、それを2シートと、ランプといたしまして、滑り台みたいな感じで、高いところから勢いをつけるための道具が、これ2機ということになっております。

それから身障センターのほうになりますけど、こちら卓球台が2台、それからポッチャの、こちらは玉も含めて、玉が白と青と赤と、それぞれ入ったものが4セット。それと先ほど申し上げましたランプが2機と、それからポッチャの点数が入ったときに表示する得点板、こちらを2機導入予定です。

あと身障センターに、もう一つビーンボウリングでありまして、ボールが通ったときにボウリングのピンみたいなところにくるくと回る形になりますけど、こういったセット、そのピンとボールとゲートといたしますか、このセットを2セットほど導入予定となっております。

以上です。

○松村委員 障害者用ということなんで、当然そういうことは、あくまでそれが目的ではあるんですけども、今これは文化交流になるんだけど、考え方としてですが、今、市としても、市民体育祭やめて、ニュースポーツのほうに力を入れていきおるじゃないですか。そういうのを考えると、こういった方々にも、逆に市民体育祭に参加できるように、そういった市民体育祭で競技をやるような、今言ったようなポッチャとか、カラーリングとか、ほかにもあると思うんです。そういったものを、もう少し取り入れたほうがいいんじゃないかな。

また、当然、こういうもの高いんです。カラーリングが25万円とかなんかするとか言いおったんで、防府市で今カラーリングのちょっとした競技大会をやろうと思うたら、借りるところが、社協に1機でレクリエーション協会かなんかに1機で、善意で貸していただいてやっているような感じで、かぶつたらないんです、今後。

ですから、もう少しそういったものを、できれば体育指導員の方々、団体があるじゃないですか、ちょっとどういったものが要りますかねみたいな、少し聞いてもろうて、少し配慮してもらおうといいんじゃないかなと、もう一回その中身というのを精査していただけないかなというのを要望しておきたいと思います。いかがでしょうか。

○犬塚障害福祉課長 今回、特に取っかかりということもありますので、実際にやってみ

て、不足しているものですか、あと新しい競技、こういったものもいいなとか、そういったものがございましたら、引き続き、補助の機会を捉えて、申請して、できるだけ過不足のないように対応していきたいと思っております。

○**松村委員** こういったものは障害者に特化せんと、やっぱり普通の健常者の人でも使えるようにしとけば、利用率が、せっかくあるのに使わなかったらもったいないので、割かしみんなで使えるようなものを配慮していただいて、購入してもらいたいなと思っておりますので、次回があるならそれでもいいんですが、今回でも少し精査ができるなら、カラーリング1機だけ増やそうかとか、これちょっとやめようかとか、今それができるのかどうか分かりませんが、できるのであればぜひお願いしたいと思っております。

以上です。

○**今津委員** 参考までに聞いておきたいと思うんですけども、華城小学校の環境整備事業で2,500万円、新たな土地の取得に向けた調査費という説明でしたけれども、そうすると、今後、駐車場とそれから留守家庭児童学級、これの土地の取得が必要になってくるわけですけども、今後は、その面積、そして土地の大体の取得費、これがどのくらいになる予想なのか。

それと、それについての予算ですが、一般財源だけなのか、あるいは国等の補助が出るのかどうか、そのことについてお聞きしたいと思います。

○**松田教育総務課長** 御質問にお答えいたします。面積につきましては、全体では約8,600平米ほどございます。具体的に、どれだけの面積がというような詳細の部分につきましては、相手との交渉によるところというところもございます。

今おっしゃったように、駐車場に関する部分、それから留守家庭児童学級の施設に関する部分、そういったことも含めまして、必要な面積については協議を進めていきたいと考えております。

それから来年度の予算に関してということになりますけれども、合意がなりました上で、予算の計上をしていくということになるかと思いますけれども、今段階で見込みといえますか、そういった具体的な、この土地に関する見込みというのは、まだ出てないんですけども、近隣で、以前、国のほうで事業をされたものがありまして、それを参考に面積で掛け合わせると、3億円程度になるのかなという感じでございます。実際に買うところの面積については、まだまだこれからというところで、そのための予算を今回計上しているところでございます。

財源につきましては、これも予算の中でということになりますので、今はちょっと申し上げるものはございません。すみません。

○今津委員 今、相手との交渉でということですが、これは面積の8,600平米、この面積自体についての交渉も含まれる、あとは価格についての交渉ということなんですが、その辺はもう少し説明してください。

○松田教育総務課長 今回予算計上しておりますのは、その全体の面積に関する測量ですとか、補償の算定、それから土地の鑑定手数料、そういった全体のものを予算計上させていただいております、今、委員がおっしゃられた、最終的にどれだけ買うか、どれだけをどの金額で買うかとか、そういったことについては、もちろん今後の交渉ということになりますので、そこについては、すみません、今具体的にこれだけの面積ということで、申し上げることができません。

○今津委員 最後の言葉をもう少しクリアに。

○松田教育総務課長 すみません、最終的にはどれだけ面積を買うとか、どれだけ面積をどれだけの予算でというようなことについては、今の段階では、すみません、具体的なものについて申し上げることができません。

○今津委員 了解です。

○梅本委員 遊具緊急安全対策についてお聞きいたします。過日既に一斉点検をされているということで聞いておりますが、危険個所を何か所、現在把握されておられますか。

そのうち何か所更新され、何か所撤去という判断をされたかをお聞きします。

○松田教育総務課長 お答えいたします。学校の遊具につきましては、小・中学校合わせて、全部で290基ほどございます。このうち全く異常がなく、問題ないということで点検結果が上がってきているものが1件、それから、軽度な異常があるけれども、経過観察でよしということになっているものが51件、それから主要部分に異常があり、何らか修繕または対策が必要ということになっているものが228件、あと主要部分に異常があって大規模な修繕、もしくは撤去等が必要ということになっているものが10件ほどございます。

このうち更新については、今5基程度を見込んでおります。最終的に非常にちょっと件数が多いんですが、撤去にするか、もしくは一部の大規模な改修で済むのか、そういったところについては、修繕のほうの業者等と最適な方法を考えて、効率的な形で進めていきたいと考えております。

○梅本委員 ありがとうございます。教育委員会さんも御存じのとおり、なかなか今老朽化で、子どもたちが遊ぶ遊具というのが本当に少なくなってきているんです。子どもたち外で遊べって言われながら、外に出ても遊ぶ遊具がないというような現状がありますので、できるだけ撤去をせずに、遊具を残すような方針でお願いしたいなということをお伝

えします。

以上です。

○和田委員 関連で、まずは緊急的に子どもの安全というものを考慮していただいて、補正で対応していただいたことに感謝申し上げます。

私、以前一般質問したときに、いわゆる大規模改修が必要な遊具が確か18件あると伺っていたと記憶しておるんですが、今回10件ということで、間で大分やっていただいたということでもいいんですか、これは。

○松田教育総務課長 前回の点検が令和2年の3月に実施をしておりますけれども、その分については、令和3年度中に対応が全て終わっております。

今回出てきましたものは、それ以降の点検等で新たに出てきたものということでございます。

○和田委員 ありがとうございます。どうぞよろしく願いして終わります。

○石田委員 概要のほうの2ページの上の新型コロナワクチン接種事業なんですけど、まず最初に確認させていただきたいんですけど、これ法定受託事務でしたよね。なので、今実際、今度意見書も出そうという話をしておるんですけど、国内でこれまで、政府に報告が上がっているだけでも1,800人以上の方がお亡くなりになっていると、ワクチンであろうという原因で、政府は因果関係3件しか認めてないけど、医者から上がっているのは1,800人以上ある。

案内をするときに、例えば、帯状疱疹で苦しんでいる方とかも本当多いし、ほかにも知り合いでたくさんいらっしゃるんです。あと血栓の可能性があると、他の病気を誘発する可能性があるよというようなことを案内に混ぜて送ることはできないもんなんですか。

そこまで具体的に言うてあげないと、やっぱり判断する材料を与えてあげないと、同調圧力とかそんなん打ってしまって、結局亡くなってしまったとか、そういう声も聞いているので、その辺についていかなんかかなと思って、教えてください。

○篠原健康増進課主幹 御質問にお答えいたします。ワクチン接種の副反応の事前のこういったことがあるかもしれないよ、という周知ということなんでございますけれども、ちょっと分かりにくいかもしれないんですけども、接種券の中にワクチンの説明書というのが一応入っております。大変ちょっと読みづらいというのほうのほうも承知しておるんですけども、全国共通で、こういった副反応がありますというのが、一応、簡条書きですけども書いてございます。

それを接種券のほうに同封させていただいておるのはもちろんなんですけれども、あと

予診のときに、予診される先生が、一応こういった、そういうワクチンの副反応も考慮した上で、本人さんに接種のほうの意思確認を最終的にしていただいて、本人の同意の上で接種していただくということで、確かにちょっと説明がもう少し詳しくということであれば、ちょっとまた当然させていただかないといけないと思いますけれども、今現状はそうのようにさせていただいております。

○石田委員 ありがとうございます。実際に本当はそこまでやらなくちゃいけないと思うんですけど、政府のほうはあんまり国民を守ろうとしてないなと、今回もオミクロン対応型は、実際に人間で治験が行われていなかったり、そういうものを平気で打ったりとか、あと、ほとんどリスクのない乳幼児についても、今後始まるから準備しておいてくださいなという通知が来たと思うんですけど、かなり本当に、前のめりになりすぎているなという感じがあって、そこの犠牲になる人のことが置き去りにされているなというのを、すごい感じているんですけど、パンフレットとかプラスアルファで入れたりとか、こういう可能性がありますよというのは、やっぱり言うてあげるべきだと思うんです。それを法的にできないのか、やろうと思えばできるのかというのを教えていただきたいんですけど。

○篠原健康増進課主幹 すみません。そういったことは、自治体の判断で実施は可能だと考えております。

○石田委員 じゃあ、ぜひ本当にやっていただきたいです。やっぱり犠牲者を見るのもつらいですしね、なかなか政府はいろんな圧力によってできないのであれば、自治体のほうでしっかり判断して、やっていただきたいなと思いますので、その辺お願いいたします。

○高砂委員 1点だけ質問させていただきます。遊具緊急安全対策についてですけれども、先ほど梅本委員の御質問の御回答に、前は令和2年3月とお答えがございました。こういった一斉点検を開催される周期というのは決まっているんでしょうか。令和2年からすれば、2年になりますか、2年以上たっているわけですけれども、その辺の周期というのは、どのような形で行われるのか、また行われてきたのかその辺をお聞かせください。

それから点検に関わられた方のことも、ちょっと教えていただければと思います。

○松田教育総務課長 点検についての御質問にお答えをいたします。点検につきましては、日常点検と定期点検というような形で行っておりまして、日常点検につきましては、各学校で月1回程度、教頭先生なり、学校の先生で目視とか、触ってみたりとか、そういった形での点検を毎月行っております。

専門的な業者等に委託などをして行う定期点検につきましては、1年に1回以上ということになっておりまして、今年度、この時期に実施をしておりますけれども、来年度以降も1年に1回程度実施をしていくという予定としております。

○高砂委員 定期点検と通常の点検と組み合わせていらっしゃるということでした。先ほどお話があったように、老朽化も進んでいるということですので、日頃の点検はもちろんですけれども、専門家による1年に1回ということも、きちんと徹底してやっていただいて、コロナ禍、またウィズコロナ、コロナで外で十分遊べなかった子どもたちが、今からどういうふうにも外で遊んでいくのかなというところが気になるころではあるんですけども、そういったことを考えての、子どもたちが安心して使えるように、点検のほうはぜひよろしくお願いをしたいと思います。

以上です。

○田中（健）委員 先ほど、梅本委員の質疑のときに少し述べられましたけれども、結局、それで修繕とか、更新とかをどれくらいするんですか。ちょっとそれがよく分からなかったんですけども。

○松田教育総務課長 お答えいたします。更新については、今時点で5基程度を見込んでおります。修繕につきましては、今上がってきている、先ほどの点検の中でも、何らかに対応が必要という3段階目のものが228件ございますけれども、この中から優先順位をつけて、緊急度の高いもの等から行っていくという形になっております。具体的な件数というのは、その修繕の内容、1件当たりの単価等も様々でございますので、どこまでできるかということもあるんですけども、優先順位をつけて、できる限りの範囲でできるようにはしていきたいと思っています。

○田中（健）委員 だから修繕が必要なものが228件あって、それは予算の関係で、どこまでできるかというのがあるんでしょうけれども、それがどれくらいできるのかというのは、やっぱり示していただかないと、だから、もしそれが、例えば2割とか3割しかできないだとか、あるいは8割くらいできるんだとかいうようなものが分からないと、2割とか3割であれば、我々の立場とすれば、もっとそれを予算つけろということを新年度以降求めていかないといけないだろうし、その辺の大ざっぱな見込みで構いませんので、お示し願えませんか。

○松田教育総務課長 お答えいたします。先ほど申し上げましたように、修繕の中にも本当に一部分の部品交換だけで、その危険が除去できて、その後ちゃんと使えるようになるというものだとか、支柱をもう変えなきゃいけないもんだとか、それぞれ本当に単価がばらばらな形になってくると思います。

その中で、今、点検の結果で上がってきているもののうち、コメント等が付されていて、ある程度対応を急がなくてはならないと、こちらのほうで見込んでいるものとしては、おおむね3分の1から半分程度できればというふうには思っております。

○田中（健）委員 3分の1から半分ということですが、そうすると、さっき言った3番目のものは修繕が必要ということですが、この遊具はそうすると修繕が終わるまで使えないということになるんですか、それともある程度使えるものなのでしょうか。

さっき、幾つかの段階述べられましたけれども、引き続いて使えるものと、使えないものの境界は、どの境になるんですか。

○松田教育総務課長 基本的には、ランクが一番下になったようなものについては危険が高いので、当面使用禁止という形にしております。それ以外にも学校のほうで、通常の点検をしていく中で、使い方等のこともあるかと思うんですけれども、学校のほうでこれについては、当面使用禁止にするというようなものもあります。そういったものを合わせて、全部で14件ほど今当面は使用禁止としております。

○田中（健）委員 当面使用禁止ということですが、梅本委員が言われたように、点検で傷んでいるということもありますし、私が小学校のPTAに関わっていたときには、かなり回転するような遊具については、傷んでなくても危険だということで撤去したようなことがあります。そういう形で、小学校の遊具というのは、かなり昔と比べると減っているんです。それがまたこういう形で、予算上のもんだとか、いろんな形で減らされないように、これは教育委員会とすれば、ぜひ、今回3分の1とか2分の1しかできないというんでは、これどんどん積み残していくような形になると思いますので、この辺、万全の体制を取っていただきたいということを要望しておきます。

それともう一件、申し上げたいのは、今回これ全て一般財源で賄ってるわけじゃなくて、匿名の寄附金500万円を使って、これに充てられていると、寄附者の意向として、幅広く教育関係にということであったわけですが、私の考える寄附のイメージとすれば、寄附を、市がやるたまたま必要なその財源にこれを加えるというような、そういうのは、寄附をされた方がそれでもいいと言われるのかもしれませんが、寄附のお金の使い方として、いささかこういう使い方はどうかと、その方の寄附がある程度分かるような形であるのが筋道じゃないかと思うんですが、ちょっとこの辺については、どういうお考えでしょうか。これはまあ財政とのやり取りの中で、こうなったのかもしれませんが。

○松田教育総務課長 今回の寄附につきましては、広く子どもたちのためにという寄附者の意向もございましたので、こういった遊具の点検、修繕がなかなか進んでいないという現状も十分認識しております。こういったことで、子どもたちのために効果的に使わせていただきたいということで、財源として活用させていただいたものでございます。

○田中（健）委員 寄附された方に、例えば修繕の形の228件のうちのどれか、3分の1か半分に使ったということではなくて、やはり500万円ということになると、教育委

員会に対しても大口の寄附だと思しますので、それはやっぱりいわゆる施設の更新、設備の更新のこういうものに使わせていただきましたというような形で、形がそれなりに、あと寄附者に報告する必要はないのかもしれませんが、そういうふうに分かるような形で、お金に色がついておりませんけれども、そういうことは考えていただきたいということだけお願いしておきます。

○曾我委員長 ほかにございませんでしょうか。

○高砂委員 もう一点ございました。失礼します。障害者用の運動用具の整備についての500万円の補正が上がっております。先ほど詳しい説明がございました。折しもパラリンピック等を私たちも拝見し、県内やまた市内からもたくさんのスポーツ選手が活躍されたわけですけれども、市民の皆さんにこういった貸出しがあることも、しっかり周知していくことが必要だろうと思えます。

活用していただかないと、準備したということが生かされないのではとも思いますので、その活用ということでの周知、PR等はどのように考えていらっしゃるかを聞かせてください。

○犬塚障害福祉課長 周知という形は、市広報等を使って打ち出していくつもりではあるんですけども、ただまだ用品が、今現在、オリパラの効果なのか、ちょっと品薄なものがあったりとか、あと受注生産みたいなものがあるって、いつからというのが具体的にはまだ導入が分からないので、その辺りのめどが立ったところで、ですから、今、導入されるソルトアリーナと身障センターのほうには、今後、貸出ししていくために、打ち出していくということで御協力をお願いしているんで、その辺りちょっと一緒に考えて、周知どうか皆さんに広く知っていただけたらと考えております。

○高砂委員 ぜひとも、よろしく願いいたします。以上です。

○曾我委員長 ほかにございませんでしょうか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○曾我委員長 ないようですので、以上で質疑を終結いたします。

健康福祉部及び教育委員会の皆様、お疲れさまでした。

ここで暫時休憩いたします。

午前10時49分 休憩

午前10時50分 開議

○曾我委員長 休憩を閉じて、会議を再開いたします。

これより議員間討議を行います。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○曾我委員長 ないようですので、議員間討議を終結いたします。

ここで執行部入場のため、暫時休憩いたします。

午前10時50分 休憩

午前10時52分 開議

○曾我委員長 休憩を閉じて、会議を再開いたします。

これより討論を求めます。

○田中（健）委員 上程されております議案の中で、マイナンバーカード交付促進事業が含まれております。これまでもマイナンバーカードに関わるものは反対をしております。

その関連の予算がありますので、この補正予算にも反対をさせていただきます。

以上です。

○曾我委員長 ほかにございませんでしょうか。

○河村委員 ただいま議題となっております議案第56号防府市一般会計補正予算（第3号）に、「公明党」として賛成の立場から討論させていただきます。

まず、新型コロナウイルスワクチン接種事業につきましては、現在の感染第7波で猛威を振るうオミクロン株に有効なワクチン接種への対応であり、日本は過去2年とも秋に流行が落ち着いた後、年末から翌年にかけて大流行に見舞われ、重症者も多く出た経験を繰り返さない点からも評価しております。また、インフルエンザワクチン接種時期と重なることもあり、丁寧な情報の周知をお願いいたします。

次に、交通系ICカード導入支援事業につきましては、「公明党」として全県的に推進しており、このたびはタクシーへの機器導入であり、インフラとしての整備充実の点より評価しております。

次に、華城小学校環境設備事業、遊具緊急安全対策につきましては、安全・安心な教育環境がさらに改善することを期待しております。

また、障害者用運動用具の整備につきましては、障害の有無に関わらず、誰もが互いに支え合い、生き生きと暮らせる共生社会に関する認識を市民に啓発する観点からも、「公明党」として評価しております。

最後に、マイナンバーカード交付促進事業につきましては、デジタル化の基盤整備となることでもあり、現在、防府市においては、申請率が60%を県内で初めて超えたことを評価しております。その上で、申請窓口は現在、大変混雑しておりますが、マイナポイント取得につきましても、分かりやすく丁寧な窓口業務をお願いいたします。

以上、討論といたします。

○山田委員 　ただいま、議案第56号補正予算について賛成の立場で討論させていただきます。

しかし、2点ほど要望ということで、ぜひ、お願いしたいことがございます。

遊具緊急安全対策については、やはりできるだけ早い対応を子供たちのためにもやっていただきたい。そして、やっぱり安全第一でございます。できるだけ不具合があるものについては使用させない。しっかりとした対応をしていただきたいということだけ要望させていただきます。

もう一点、マイナンバーカードについての交付促進事業、一般質問でもやらせていただきましたが、今回、総務省の調べでも、交付枚数率はやはり高齢者が大変多い。防府市でも高齢者が多いというデータが出ています。公民館等の強化で、マイナンバーカードにしているアプリも引き続き公民館のほうで対応していただきたい。しっかりとした対応をよろしくお願いいたします。

また、データからいいますと、若者がマイナンバーカードを取っていないというのが多いというのも事実で出てきていますので、若者が集うイベントも今後は考えていただきたいということは一般質問でも言わせていただきましたが、よろしくお願いいたします。

それと、一番ここ重要なことですが、今後、企業に対する出張申請案内も出てくるところではございますが、個人情報分散管理システムや、24時間365日のコールセンターの対応と安全対策の周知を、ぜひ広報やホームページでの啓発をよろしく願いしたいと本当に思います。市民に寄り添った詳しい説明や対応をお願いして、会派「絆」といって賛成の立場で討論させていただきます。

○宇多村委員 　議案第56号令和4年度防府市一般会計補正予算について、「自民党」として賛成の立場で討論いたします。

本予算は、おおむね国の方針に基づくものであります。マイナンバーカードの交付事務費について、一部議員より申し出がありましたけども、これらのいわゆるマイナンバーカードを促進するということは、国のあらゆる分野で大きなメリットがあるものと考えております。そういった意味合いで推進すべきという立場で、本予算に賛成いたします。

○石田委員 　本予算案に「敬天会」として賛成の立場で討論させていただきます。2点ほどちょっと意見を言わせていただきます。

まず、マイナンバーカード交付促進事業なんですけど、ポイントもたくさんつくようになったので、どんどん数値も上がっているということで、うれしく思っていますけど、できますれば国とかにも要望を上げてほしいんです。支援金とかの条件にしてほしいとか、

今度もまた5万円給付というのがあると思うんですけど。

それとか、市が地方創生臨時交付金などを利用して、いろんな事業をやるときに、その条件にすることを国としても推奨してほしいとか、奨励してほしいとか、そういうふうな感じでぜひ声も上げていただきたい。なかなか今作らない方を待っていても、いろいろ作ってくれないと思うんで、それであれば、もういやが応にも作らざるを得なくなると思うんで、ぜひ、その辺も含めて考えていただければ、うれしく思います。

それと先ほど申しました新型コロナワクチン接種事業なんですけど、現にたくさんのワクチン打った後、お亡くなりになっている方が多いということで、1,800名を超えているということで、医者から上がってきた報告だけでもそれなんで、ほかにもっと、もっと潜在的な方、隠れている方がいらっしゃると思うんです。副反応で困っておられる方も非常に多いということで、また、しかもこのオミクロン型対応ワクチンについては、日本で初めて打たれるということで、治験も全くできてないということで副反応の可能性、パンフレットに、こういう可能性がありますよと、現に近い方でも帯状疱疹とかで苦しんでいる方もたくさんいらっしゃいますし、こういう可能性がありますよということはパンフレットで必ずお知らせしていただきたいということを、同調圧力に負けて、どうしても打ってしまう方もいらっしゃるんで、しっかりと判断していただく材料をちゃんと提供していただきたいということを要望し、賛成の討論といたします。

以上です。

○曾我委員長 ほかにございませんでしょうか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○曾我委員長 ないようですので、討論を終結して、お諮りいたします。本案については、反対の意見もありますので、挙手による採決といたします。

議案第56号について、これを承認することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者 挙手〕

○曾我委員長 挙手多数でございます。よって、議案第56号については原案のとおり承認されました。

以上をもちまして、当委員会に付託されました案件についての審査を終了いたします。

これをもって、予算委員会を閉会いたします。皆さん、お疲れさまでした。

午前11時 閉会

防府市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

令和4年9月14日

防府市議会予算委員会委員長 曾 我 好 則